

ロッテンブルグ市、ドイツ、6月7～8日



Baden-Württemberg  
**STIPENDIUM**



第一回  
日独林業  
シンポジウム  
2016

(パートナー)

主催



後援



With support from



by decision of the  
German Bundestag



協賛



(ご案内)

第1回日独林業シンポジウム2016  
2016年6月7日～8日、ロッテンブルク、ドイツ

皆様、

ドイツと日本は、様々な形態の森林経営に長い歴史を有しており、両国とも、広大な森林に覆われ、森林蓄積も相当大きいものとなっています。しかしながら、日本は、高度に産業化が進んだ国としては例外的に、森林資源の利用が過少となっており、地方の森林景観と都会の人口密集地とのつながりが断たれています。他方、ドイツにおいては、毎年の木材需要量は国内の年間伐採許容量とほぼ同じレベルであり、都市と森林、社会と林業の交流も、様々なつながりによって、相互に強い影響を受けています。今日、日本では、パラダイムのめざましい変化の中で、国内の森林と木材資源の持続的な活用に大きく方向を変えつつあります。一方、ドイツは、再生可能な天然資源の有限性に直面しているところです。

今回の「日独林業シンポジウム」は、このような近年始まった変化とそこから生ずる様々な課題のみならず、幅広い地域的・制度的な状況を議論するものです。このような議論から、発表者は、日本の林業における「ルネッサンス」に向けた展望を示すとともに、ドイツ的林業における有限資源の最適利用に向けた道筋を示すことになるでしょう。

従って、この「第1回日独林業シンポジウム」は、ドイツと日本両国における森林、木材科学、産業の関係者間において、それぞれの国における持続可能な林業の実現に向けた考え方と経済的解決策に関するやりとりを強化することを意図するものです。更に、ここでの議論は、欧州とアジアにおける森林の効率的かつ弾力的な利用に対する理解を深めることにもつながるものと考えられます。

「日独林業シンポジウム」は、ドイツと日本における林業に関する国レベルでの最新のプラットフォームとなるもので、科学、行政、政策分野におけるリーダーや林業・木材産業の関係者間において、実りある議論を生み出す機会ともなるものです。本シンポジウムの目的は、森林・林業からのニーズや森林・林業へのアプローチを理解すること、バリューチェーンに沿って関係者の強固なネットワークを築くこと、変化しつつある世界の中で新たな課題に向き合うこと、両国間での将来にわたる定期的な交流の場を立ち上げることにあります。

本シンポジウムの対象者は、学術機関（国立大学や州立大学、研究機関等）の専門家や幹部、国・州の森林・林業行政機関、先進的な林業事業者、森林所有者団体の代表などです。

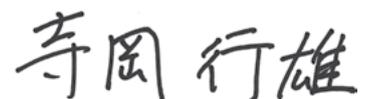
シンポジウムでは、両国から選ばれたハイレベルの専門家（研究者と実務者の共同発表もあります）が、専門分野・政策分野における国内の最新動向を紹介した上で、幅広いネットワークを活かして、林業から木材産業までの技術的なレベルへと議論を進めて参ります。



学長 バスティアン・カイザー  
ロッテンブルク林業大学



教授 セバスチャン・ハイン  
ロッテンブルク林業大学



教授 寺岡 行雄  
鹿児島大学

## (プログラム)

### 2016年6月7日 (火)

- 09:00 - 16:00 エクスカーション (ダグラスファー林の経営に関するケーススタディ (レーベンシュタイン))  
Sebastian Hein 教授 (ロッテンプルク林業大学)、Ulrich Kohnle 教授 (バーデンヴュルテンベルク州森林研究所)
- 18:00 - 19:00 受付
- 20:00 - 22:00 前夜祭  
ディナースピーチ「ドイツ人とその森林に対する洞察」  
Albrecht Lehmann 教授 (ハンブルグ大学)

### 2016年6月8日 (水)

- 08:00 - 08:30 開会挨拶
- 08:30 - 09:00 森林政策のビジョン：ドイツの林業—その長所と戦略的課題  
未定 (連邦食料農業省)
- 09:00 - 09:30 新たな森林政策—日本における持続可能な林業の成長産業化  
未定 (林野庁)
- 09:30 - 10:00 国家森林調査—ドイツにおける持続可能な森林経営のデータ  
Heino Polley (ヨハン・ハインリヒ・フォン・チューネン研究所)、Gerald Kaendler (バーデンヴュルテンベルク州森林研究所)
- 10:30 - 11:00 日本の地域における林業、木材産業、人材育成  
川尻秀樹 副学長 (岐阜県立森林文化アカデミー)
- 11:00 - 11:30 変革期にある森林産業：社会と環境の変化に対して、どのように適応するか  
未定 (バーデンヴュルテンベルク州地域・消費者保護省)
- 14:00 - 14:30 ドイツにおける林産物企業の経済状況  
Artur Petkau 教授 (ロッテンプルク林業大学)、Bernhard Moehring 教授 (ゲッティンゲン大学)
- 14:30 - 15:00 日本における正確な情報とICT技術を活用した新たな林業の課題  
寺岡行雄 教授 (鹿児島大学)
- 15:30 - 16:00 森林からのバイオマス：供給と価値の付与—ドイツにおける経験  
Stefan Pelz 教授 (ロッテンプルク林業大学)、Markus Mann (マン・エネルギー社)
- 16:00 - 16:30 日本における木質バイオマスエネルギーの現状と展望  
伊藤幸男 准教授 (岩手大学)
- 19:00 - 22:00 懇親会  
ディナースピーチ「130年間の日独林業交流」  
Christoph End (ロッテンプルク林業大学)、Sebastian Hein 教授 (同)

## (詳細情報)

### 会議言語

使用言語はドイツ語です。ドイツ語と日本語の同時通訳があります。

### 参加申込

シンポジウムへの参加申込は別紙様式にて所定の申込先までお申し込みください。申込期限は2016年4月15日(金)です。期限を過ぎてもお申し込みいただけますが、会場準備の都合上、参加者数を把握する必要があるため、なるべく期限内にお申し込みください。

### 費用

エクスカージョンおよびシンポジウムの参加費用は無料です。前夜祭および懇親会は有料です(いずれも35ユーロ/人)。

### 会場

シンポジウムの会場はロッテンブルク林業大学講堂を予定していますが、参加申込者数が100名を超えた場合はロッテンブルク市会議場に変更される可能性があります。エクスカージョンの集合場所はロッテンブルク大学正門前です。市内ホテルおよびロッテンブルク駅からのシャトルバスを計画していますが、詳細については後日お知らせいたします。

### 宿泊

主催者にてシンポジウム参加者向けにロッテンブルク市内のホテルの予約を行っています。宿泊あつせんを希望される場合は、参加申込時にあわせてお申し込みください。折り返し主催者よりホテル情報をお知らせいたします(1泊あたり80～100ユーロの予定です)。

Hotel Martinshof  
Eugen-Bolz-Platz 5  
72108 Rottenburg  
[rezeption@martinshof-rottenburg.de](mailto:rezeption@martinshof-rottenburg.de)

BEST WESTERN Hotel Convita  
Röntgenstrasse 38  
72108 Rottenburg  
[rezeption@convita-rottenburg.bestwestern.de](mailto:rezeption@convita-rottenburg.bestwestern.de)

Hotel Restaurant Württemberger Hof  
Tübinger Str. 14  
72108 Rottenburg am Neckar  
[info@wuerttembergerhof.de](mailto:info@wuerttembergerhof.de)

### (KWF展示会)

KWF機械展はドイツで隔年に開催される世界最大級の林業機械展です。シンポジウム翌日の6月9日より、バイエルン州ローディングにて開催されます。KWF機械展のチケット(1日券)を、本シンポジウム参加者には割引価格でご提供します。チケット購入を希望される場合は参加申込時にあわせてお申し込みください。なお、ローディングまでの移動手段は各自でご用意ください。

### 問合せ先

日本  
株式会社自然産業研究所(担当:安藤、大南、田村)  
〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東一丁目1-2  
TEL/FAX: 077-572-5336/077-572-5337  
[germanjapanfs2016@gmail.com](mailto:germanjapanfs2016@gmail.com)

ドイツ  
ロッテンブルク林業大学(担当:セバスチャン・ハイン教授、クリストフ・エント)  
TEL: +49-7472-951239、+49-7472-951228  
[germanjapanfs2016@hs-rottenburg.de](mailto:germanjapanfs2016@hs-rottenburg.de)

## Baden-Württemberg-STIPENDIUM

### Baden-Württemberg-STIPENDIUM for University Students:

With the Baden-Württemberg-STIPENDIUM for University Students the Baden-Württemberg Stiftung enables some 1,200 students a year from all over the world to study in a foreign country for a period of three to eleven months. The objective of the Baden-Württemberg-STIPENDIUM for University Students is to promote the international exchange of highly qualified German and foreign students. The scholarships are divided equally between applicants from Baden-Württemberg and from abroad.

[www.bw-stipendium.de](http://www.bw-stipendium.de)

### Baden-Württemberg-STIPENDIUM for University Students – BWS plus:

With the Baden-Württemberg-STIPENDIUM for University Students – BWS plus, the Baden-Württemberg Stiftung supports innovative cooperation of Baden-Württemberg universities. The programme is endowed with approx. 800,000 euros per year. In the five tendering rounds from 2011 to 2015, so far 43 projects have been implemented.

For more information please click [here](#).

### Baden-Württemberg Stiftung:

The Baden-Württemberg Stiftung advocates a vital Baden-Württemberg with a high quality of life for all its residents. It helps pave the way for advanced technological progress, high quality education, and a responsible relationship with fellow human beings. The Baden-Württemberg Stiftung is one of the major foundations in Germany. It is the only foundation which exclusively and above party lines invests in the future of the state of Baden-Württemberg - and thus in the future of its citizens.

[www.bwstiftung.de](http://www.bwstiftung.de)



Ein Programm der



## 参加申込書

各プログラムへの参加について、該当部分にチェックを入れてください

エクスカーショントシンポジウムへの参加 (2016/6/7～6/8)

シンポジウムのみ参加 (2016/6/8)

前夜祭への参加 (35ユーロ、2016/6/7)

懇親会への参加 (35ユーロ、2016/6/8)

KWF機械展への入場券 (1日券、定価35ユーロのところ特別価格20ユーロ)

宿泊:

性別:

肩書き:

氏名 (漢字):

氏名 (ローマ字):

所属・役職:

Eメール:

コメント:

問合せ先

日本

株式会社自然産業研究所 (担当: 安藤、大南、田村)

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東一丁目1-2

TEL/FAX: 077-572-5336/077-572-5337

[germanjapanfs2016@gmail.com](mailto:germanjapanfs2016@gmail.com)

ドイツ

ロッテンブルク林業大学 (担当: セバスチャン・ハイン教授、クリストフ・エント)

TEL: +49-7472-951239、+49-7472-951228

[germanjapanfs2016@hs-rottenburg.de](mailto:germanjapanfs2016@hs-rottenburg.de)

この申込書に記入頂くと、自動的にPDFファイルが生成され、主催者に送信されます。  
自動的に送信されない場合は、PDFをメールでお送りいただくか、FAXにて送信ください。

メール: [germanjapanfs2016@gmail.com](mailto:germanjapanfs2016@gmail.com)

FAX: 077-572-5336